平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名　オーナンバ株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　5816　URL　http://www.onamba.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤　誠治
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長　(氏名) 鈴木　良弘　TEL 06-6976-6101

四半期報告書提出予定日　平成24年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,591	6.2	4	△96.8	△242	―	△365	―
24年3月期第1四半期	7,149	△10.9	152	△48.7	197	△17.6	74	△59.7

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　69百万円　(△81.2%)　24年3月期第1四半期　369百万円　(88.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△29.14	―
24年3月期第1四半期	5.92	5.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	29,228	11,381	37.8
24年3月期	22,500	11,331	49.0

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　11,042百万円　24年3月期　11,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	10.5	250	△49.2	150	△71.3	50	△75.9	3.99
通期	33,500	22.4	900	27.1	800	1.4	450	61.9	35.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	12,558,251 株	24年3月期	12,558,251 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	21,090 株	24年3月期	21,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	12,537,167 株	24年3月期1Q	12,532,675 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年６月30日）の当社グループを取り巻く環境は、欧米における太陽光発電需要の減少、日本・アジアにおける薄型テレビ需要の減少など厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、太陽光発電配線ユニット部材の現地調達の推進、白物家電・自動車部品用ワイヤーハーネス需要の開拓に努めてまいりました。また、４月にユニオンマシナリ株式会社を子会社化し、自動車用ワイヤーハーネス製品の拡販に注力してきました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、7,591百万円（前年同四半期連結累計期間比6.2%増）となりました。営業利益は主に欧米の売上高減少の影響により4百万円（前年同四半期連結累計期間比96.8%減）、銅デリバティブ取引の評価損及び為替差損の影響により経常損失242百万円（前年同四半期連結累計期間は経常利益197百万円）となり、さらに投資有価証券評価損の発生もあり四半期純損失365百万円（前年同四半期連結累計期間は四半期純利益74百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は、ユニオンマシナリ株式会社を子会社化した影響により29,228百万円（前連結会計年度末比6,727百万円増）となりました。

負債合計も同様の影響により17,846百万円（前連結会計年度末比6,677百万円増）となりました。

純資産合計は、11,381百万円（前連結会計年度末比50百万円増）となりました。四半期純損失の発生などにより利益剰余金が428百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が451百万円増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績につきましては、今後の為替及び銅価格の変動を予想することが困難であることから、平成24年５月11日に公表いたしました業績予想を据え置きます。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において特定子会社の異動はありません。なお、当四半期連結累計期間においてユニオンマシナリ株式会社の株式を取得したため、同社及び同社の子会社であるUMT INTERNATIONAL CO.,LTD.を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（たな卸資産の評価方法の変更）

当第１四半期連結会計期間より、当社及び連結子会社における原材料の評価方法を主として移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）から、総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更いたしました。

これは当期首におけるユニオンマシナリ株式会社の子会社化及び当社の基幹システムの変更を契機に、当社グループの評価方法の統一を図ることを目的としております。

当該会計方針の変更に伴い遡及適用した場合に、過年度の連結財務諸表に与える影響は軽微と考えられるため、遡及適用を行わず、期首から将来にわたり総平均法を適用しております。

この変更による、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失並びに１株当たり情報への影響は軽微であります。

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法（但し、平成10年４月１日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、当第１四半期連結会計期間よりすべての有形固定資産の減価償却方法について、定額法による償却方法に変更しております。

この変更は、当社グループにおける主力製品が、従来のライフサイクルが短い薄型テレビ用ワイヤーハーネスから、長期安定的な新エネルギー部門のＰＶＵ（太陽光発電配線ユニット）に変化してきたという事業構造の変化に伴って、前連結会計年度までに実施した一連の構造改革による国内製造拠点の閉鎖、縮小と新たな海外製造拠点の設立により、その効果が当連結会計年度以降発現することが見込まれること、及び当期首におけるユニオンマシナリ株式会社の子会社化を契機として、今後安定的な収益獲得が見込まれる自動車用ワイヤーハーネスが当社グループの主力製品の一つとなることから、当社及び当社グループの減価償却方法を見直したところ、国内製造設備については、その役割から安定的に稼動し、収益貢献も比較的安定的と見込まれ、定額法による減価償却の方法を採用するほうが会社の経済的実態をより適切に反映させることができると判断したことにより実施したものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第１四半期連結累計期間の減価償却費が23,941千円減少し、営業利益が同額増加、経常損失及び税金等調整前四半期純損失がそれぞれ同額減少しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第1四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,250,448	5,781,360
受取手形及び売掛金	7,082,518	8,824,691
商品及び製品	1,528,173	1,896,623
仕掛品	505,264	916,653
原材料及び貯蔵品	2,196,221	2,556,546
繰延税金資産	206,489	217,588
その他	385,945	606,028
貸倒引当金	△16,698	△7,775
流動資産合計	17,138,363	20,791,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,808,614	4,225,073
減価償却累計額	△1,666,232	△2,451,642
建物及び構築物（純額）	1,142,382	1,773,430
機械装置及び運搬具	4,351,700	5,025,683
減価償却累計額	△3,138,828	△3,665,258
機械装置及び運搬具（純額）	1,212,872	1,360,425
土地	906,643	1,966,385
建設仮勘定	750	11,459
その他	1,031,059	2,052,081
減価償却累計額	△814,137	△1,617,345
その他（純額）	216,921	434,735
有形固定資産合計	3,479,569	5,546,435
無形固定資産		
のれん	－	486,657
その他	323,520	398,192
無形固定資産合計	323,520	884,849
投資その他の資産		
投資有価証券	1,036,755	1,146,817
長期貸付金	305	254,474
繰延税金資産	145,640	154,941
その他	384,106	541,384
貸倒引当金	△7,400	△92,273
投資その他の資産合計	1,559,407	2,005,344
固定資産合計	5,362,498	8,436,629
資産合計	22,500,861	29,228,346

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第1四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,413,310	6,124,357
1年内償還予定の社債	400,000	400,000
短期借入金	2,605,613	5,188,172
未払法人税等	104,432	73,782
賞与引当金	149,525	234,467
役員賞与引当金	20,000	6,000
その他	778,534	1,339,392
流動負債合計	8,471,417	13,366,173
固定負債		
社債	－	110,000
長期借入金	2,172,109	3,506,519
繰延税金負債	11,215	22,277
退職給付引当金	205,895	351,775
資産除去債務	15,356	20,200
その他	293,222	469,685
固定負債合計	2,697,799	4,480,459
負債合計	11,169,217	17,846,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	2,042,231	2,046,895
利益剰余金	8,350,762	7,922,747
自己株式	△5,572	△5,581
株主資本合計	12,710,480	12,287,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,462	24,855
繰延ヘッジ損益	△8,608	△932
為替換算調整勘定	△1,720,531	△1,268,543
その他の包括利益累計額合計	△1,689,676	△1,244,621
少数株主持分	310,840	339,213
純資産合計	11,331,644	11,381,714
負債純資産合計	22,500,861	29,228,346

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	7,149,299	7,591,430
売上原価	5,820,470	6,291,393
売上総利益	1,328,828	1,300,036
販売費及び一般管理費	1,176,442	1,295,126
営業利益	152,385	4,910
営業外収益		
受取利息	2,077	4,791
受取配当金	5,824	6,416
設備賃貸料	6,730	2,550
為替差益	19,819	－
持分法による投資利益	2,850	1,366
貸倒引当金戻入額	14,958	20,025
スクラップ売却益	7,511	7,965
その他	22,479	39,933
営業外収益合計	82,250	83,048
営業外費用		
支払利息	27,240	37,274
為替差損	－	69,093
デリバティブ評価損	－	205,446
その他	10,196	18,451
営業外費用合計	37,437	330,265
経常利益又は経常損失（△）	197,199	△242,306
特別利益		
固定資産売却益	4,895	1,000
特別利益合計	4,895	1,000
特別損失		
固定資産処分損	3,919	308
投資有価証券評価損	－	53,312
その他	720	2,000
特別損失合計	4,639	55,620
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	197,455	△296,926
法人税、住民税及び事業税	86,227	46,415
法人税等調整額	26,425	45,879
法人税等合計	112,653	92,295
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	84,802	△389,221
少数株主利益又は少数株主損失（△）	10,662	△23,893
四半期純利益又は四半期純損失（△）	74,139	△365,328

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	84,802	△389,221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,471	△14,607
繰延ヘッジ損益	－	△1,332
為替換算調整勘定	283,087	474,479
その他の包括利益合計	284,559	458,539
四半期包括利益	369,361	69,318
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	347,872	71,119
少数株主に係る四半期包括利益	21,489	△1,801

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	計	合計
	電線及びその加工部品の製造並びに販売							
	日本	ヨーロッパ	北米	アジア(日本を除く)	小計			
売上高								
外部顧客への売上高	3,889,770	789,375	1,080,102	1,390,050	7,149,299	―	7,149,299	7,149,299
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,380,891	―	923	1,895,321	3,277,136	―	3,277,136	3,277,136
計	5,270,661	789,375	1,081,026	3,285,371	10,426,435	―	10,426,435	10,426,435
セグメント利益又はセグメント損失（△）	75,276	31,535	51,403	△42,845	115,369	―	115,369	115,369

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	115,369
セグメント間取引消去	37,016
四半期連結損益計算書の営業利益	152,385

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							合計
	電線及びその加工部品の製造並びに販売					その他	計	
	日本	ヨーロッパ	北米	アジア(日本を除く)	小計			
売上高								
外部顧客への売上高	5,187,572	548,859	854,319	969,368	7,560,120	31,310	7,591,430	7,591,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,037,136	17,552	592	1,924,682	2,979,964	―	2,979,964	2,979,964
計	6,224,709	566,412	854,912	2,894,050	10,540,084	31,310	10,571,394	10,571,394
セグメント利益又はセグメント損失（△）	95,834	△16,785	13,001	△50,399	41,650	△13,001	28,649	28,649

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は平成24年４月11日付でユニオンマシナリ株式会社の株式を取得し、同社及びUMT INTERNATIONAL CO.,LTD.を連結子会社といたしました。この結果、当第１四半期連結累計期間より、両社が当社グループの事業（「電線及びその加工部品の製造並びに販売」の「日本」及び「アジア（日本を除く）」セグメント並びに「その他」セグメント）に加わっております。これにより、前連結会計年度の末日に比して当第１四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は7,077,501千円増加しております。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	28,649
セグメント間取引消去	△23,739
四半期連結損益計算書の営業利益	4,910

４．報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「日本」、「ヨーロッパ」、「北米」及び「アジア（日本を除く）」の４つを報告セグメントとしておりましたが、新たに連結子会社となったユニオンマシナリ株式会社における商品販売事業は電線及びその加工品の製造並びに販売に分類されないため、当第１四半期連結累計期間より「その他」を報告セグメントに加えました。従来の報告セグメントについては、「電線及びその加工部品の製造並びに販売」の内訳区分としております。なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

５．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

ユニオンマシナリ株式会社及びUMT INTERNATIONAL CO.,LTD.を連結子会社としたことにより、のれんが「電線及びその加工部品の製造並びに販売」の「日本」セグメントにおいて474,367千円、「アジア（日本を除く）」セグメントにおいて37,621千円、それぞれ発生しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。